

5. まとめ

調査対象とした松川浦地区は面積約100km²で、この報告書に取りあげた松川浦は環境省が選定した日本の重要湿地500の一つであり、平成22年にはラムサール条約湿地の潜在候補地として選ばれ、豊かな自然を有しています。

本調査で得られた成果及びデータが、環境調査等のその他の知見とともに、地域の環境保全や交流・学習活動等、環境や土地利用の改変の歴史と現状を踏まえた適切な利用のための基礎資料として、自然と共生する地域づくりに広く活用されることを期待します。

本調査の実施に際して、福島県、相馬市、相馬双葉漁業協同組合、その他関係機関にご協力していただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

なお、この報告書に使用した地形図等は、国土地理院が発行している2万5千分1地形図、5万分1地形図及び参謀本部陸地測量部、国土地理院の旧版地形図であり、また使用した写真は、国土地理院が所蔵している米軍撮影及び国土地理院撮影の空中写真、並びに現地調査等で撮影したものであることを付記します。

参考文献

- 気象庁 気象統計情報：<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>
- 相馬市HP：<http://www.city.soma.fukushima.jp/kids/aramasi/index.html>
- 市町村要覧編集委員会(2010)：全国市町村要覧（平成22年版）P110、115
- 総務省統計局(2007)：平成17年国勢調査報告第3巻 その2
都道府県・市区町村編 07 福島県 P236、P304
- 佐久間達夫(1988)：伊能忠敬測量日誌 本州東海岸編 P32
- 参謀本部陸地測量部(1932)：陸地測量部寫真帖 P1
- 環境庁(1993)：第4回自然環境保全基礎調査「湖沼調査報告書」東北版（Ⅱ）
（岩手県・宮城県・福島県） P7-11～7-18
- 相馬市(1978)：相馬市史2（下巻）各論編1 論考下巻 P535-628
- 環境省 日本の重要湿地500：<http://www.sizenken.biodic.go.jp/wetland/>

用語集

潟湖 (p3) : 湾が砂州や沿岸州・砂嘴などの発達によって海の一部が閉塞されて生じた湖を指す。代表的な湖沼として北海道のサロマ湖、風蓮湖、静岡県の浜名湖などがある。

GIS (p7) : 地理情報システム、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。Geographic Information Systemの略

汽水湖 (p14) : 内湾、河口部などにあり、海水の影響により淡水と混入し多少塩分を含む湖沼。代表的な湖沼として北海道のサロマ湖、風蓮湖、静岡県の浜名湖などがある。

DGPS (p16) : 位置のわかっている基準局が発信するFM放送の電波を利用して、GPS（全地球測位システム）の計測結果の誤差を修正して精度を高める測量技術。Differential Global Positioning Systemの略。

ラムサール条約 (p32) : 正式な名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1971年に、イランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」で採択された条約。